

## 事業報告及びその附属明細書

### I. 平成 30 年度事業報告

平成 30 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、第 56 回「学術研究奨励金」の贈呈及び第 7 回「三島海雲学術賞」の贈呈並びに「学術活動支援」に係る学術研究奨励事業を行いました。

#### 1. 学術研究奨励金（助成）事業

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

##### 1) 対象分野

(イ) 自然科学部門 食の科学に関する学術研究

上記「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学分野 アジア地域を対象とし、哲学、史学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究（但し、日本を中心とする研究は除く）

##### 2) 対象とする研究者及び研究グループ

上記学術研究分野の個人研究者及び複数の研究機関又は異なる部局の研究者が共通の課題について研究する共同研究グループ

##### 3) 応募資格

(A) 個人研究奨励金

- ①日本在住の研究者（国籍は問わない）及び海外在住の日本人研究者
- ②年齢制限は有りませんが、若手研究者及び女性研究者の応募を期待します。
- ③応募する研究者個人に対する奨励金ですが、共同研究者があることも可とします。

(B) 共同研究奨励金

①共同研究の代表研究者とします。

代表研究者は、複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究組織を代表し、計画の推進、取りまとめ等に責任をもって遂行できるもの

②代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとします。

なお、共同研究者の国籍は問いません。

③共同研究者の 1 名は、代表研究者と異なる外部研究機関又は部局に所属していることを必要とします。

④また、原則、分担研究費が 100 万円以上の共同研究者が一名以上加わることを必要とします。

##### 4) 推薦者

①所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方の推薦を必要とします。

大学院生の場合、指導教官による推薦も可とします。

②申請書は、所属機関の事務局（事務課）経由で提出願います。

③「個人研究奨励金」の推薦件数は複数可とします。

「共同研究奨励金」の推薦件数は 1 件とします。

推薦者は、申請者の所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方

##### 5) 応募方法

応募には電子登録と申請書による申請が必要です。

6) 応募期間 平成 30 年 1 月 10 日～2 月 28 日（必着）

## 7) 選考手続

当財団の学術委員会にて審査選考のうえ、理事会の承認を経て決定します。

## 8) 採択結果

### (A) 「個人研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 245 件、人文科学部門 115 件、計 360 件 (前年比 109%)

②採択件数 **自然科学部門 39 件、人文科学部門 17 件 計 56 件** (採択率 16%)

③贈呈金額 1 件当り 100 万円、**総額 5,600 万円** (予算 5,400 万円)  
超過分(200 万円)は平成 30 年度経費より充当

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

### (B) 「共同研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 17 件、人文科学部門 13 件、計 30 件 (前年比 94%)

②採択件数 **自然科学部門 2 件、人文科学部門 1 件 計 3 件** (採択率 10%)

③贈呈金額 1 件あたり 480 万円～500 万円、**総額 1,460 万円** (予算 1,500 万円)

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

## 9) 選考結果の通知

贈呈年度 6 月中旬までに書面にて応募者及び応募代表研究者に通知するとともに、財団ホームページ等で公表した。

## 10) 贈呈式並びに助成金の交付

平成 30 年 7 月 6 日 (金)、贈呈式にて交付 (於 パレスホテル東京)

## 2. 三島海雲学術賞(褒賞)事業

本賞は、財団設立 50 周年(平成 24 年)を機に創設し、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

### 1) 対象研究分野

(イ) 自然科学部門 食の科学に関する研究

上記「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究

(但し、日本を中心とする研究は除く)

### 2) 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす研究者

① 45 歳未満の者 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

② 人文科学部門においては、平成 27 年 8 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日に刊行された著書(単著)を有する者

③ 日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者

### 3) 推薦者

① 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関部局の代表者

② 人文科学部門においては、本財団より推薦依頼を受けた出版社の部門代表者

③ 本財団の理事並びに評議員 (但し、選考委員を除く)

### 4) 推薦期間 平成 29 年 8 月 1 日～9 月 30 日

5) 選考 学術委員からなる選考委員会で審査選考し、理事会の承認を経て決定。  
なお、選考委員が、候補者と密接な関係にある場合は、選考には関わることとはできない。

## 6) 受賞者の決定

- ①応募件数 自然科学部門件 10 件、人文科学部門 14 件、計 24 件（前年比 92%）
  - ②受賞件数 自然科学部門 2 件、人文科学部門 1 件 計 3 件（受賞率 13%）
  - ③贈呈金額 1 件あたり 200 万円、総額 600 万円（予算 600 万円）
- 7) 賞の贈呈 平成 30 年 7 月 6 日（金）贈呈式にて贈呈（於 パレスホテル東京）  
贈呈式に併せ、受賞者による「講演会」を開催した。

## 3. 学術活動支援（助成）事業

本事業は、大学、研究機関、学会などが主催する学術活動に対して支援するものです。

### 1) 対象学術活動

- (イ) 自然科学部門 食の科学に関する学術活動
- (ロ) 人文科学部門 アジア地域を対象とし、哲学、史学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術活動

上記学術活動で、クローズドな活動でなく外部／新たな参加者を認めるもの  
なお、下記の学術活動は原則として対象外とします。

- ① 国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会
  - ② 当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一の学術活動
- 2) 応募資格者 学術活動の責任者又は主催者

なお、当財団の関係者は原則として対象外とします。

### 3) 応募方法

財団所定の申請書（PDF 版財団ホームページから入手可）に必要事項を記入の上、申請書及び補足資料（趣意書、開催案内等）を事務局宛に郵送してください。

### 4) 申請受付期間

申込区分	受付期間	採否通知
I 期	1 月～ 3 月	4 月中旬
II 期	4 月～ 6 月	7 月中旬
III 期	7 月～ 9 月	10 月中旬
IV 期	10 月～12 月	1 月中旬

### 5) 選考

- (イ) 学術委員長の了解のうえ、理事会が決定します。
- (ロ) 採択基準として以下を考慮する。
  - ① 当財団の事業目的に沿ったもの
  - ② 国や企業等の補助や助成を得にくいもの
  - ③ 主として当財団の寄附によって活動が行われるもの
  - ④ 学術性が高く、国際的な活動
  - ⑤ 若手や海外からの参加者が多いもの

### 6) 採択結果

申込区分	採択件数	助成金額
平成 29 年IV期	なし	—
平成 30 年 I 期	2 件	50、30 万円
II 期	1 件	50 万円
III 期	なし	—

（予算年間 200 万円）

### 7) 助成金の支給

学術活動の責任者又は主催者が指定する口座に振り込み

表1 平成30年度学術研究奨励金及び褒賞金等の累計実績（昭和38年～平成30年）

事業	部門	平成30年度（当年度）		累計		備考
		件数	贈呈金額	件数	贈呈金額	
(1) 三島海雲学術賞	自然科学部門	2件	400万円	13件	2,600万円	H24年～
	人文科学部門	1件	200万円	8件	1,500万円	
<b>三島海雲学術賞計（褒賞）</b>		<b>3件</b>	<b>600万円</b>	<b>21件</b>	<b>4,100万円</b>	
(2) 学術研究奨励金						
(A) 個人研究奨励金	自然科学部門	39件	3,900万円	1,179件	87,405万円	S38年～
	人文科学部門	17件	1,700万円	668件	42,892万円	
小計		<b>56件</b>	<b>5,600万円</b>	<b>1,847件</b>	<b>130,297万円</b>	
(B) 共同研究奨励金	自然科学部門	2件	980万円	8件	3,980万円	H27年～
	人文科学部門	1件	480万円	6件	1,970万円	
小計		<b>3件</b>	<b>1,460万円</b>	<b>14件</b>	<b>5,950万円</b>	
<b>学術研究奨励金計（助成）</b>		<b>59件</b>	<b>7,060万円</b>	<b>1,861件</b>	<b>136,247万円</b>	
(3) 学術活動支援金（助成）		<b>3件</b>	<b>130万円</b>	<b>11件</b>	<b>660万円</b>	H25年～「その他研究支援」 H28年～「学術活動支援」
(4) 大学院博士課程奨学金		-件	-万円	延27件	2,600万円	H16～H24年終了
<b>合計</b>		<b>65件</b>	<b>7,790万円</b>	<b>1,920件</b>	<b>143,607万円</b>	

「学術研究奨励金」及び「学術賞」の贈呈者及び助成実績推移等は以下の資料を参照下さい。

付表1. 第56回（平成30年度）学術研究奨励金 贈呈者一覧

付表2. 第7回（平成30年度）三島海雲学術賞 受賞者一覧

平成30年度学術活動支援

付表3. 学術研究奨励事業の推移

付図1. 学術研究奨励金 助成推移

## 平成30年度 学術研究奨励金 贈呈者一覧 (自然科学部門)

【共同研究奨励金】			(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)					
No	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関名称	役職	年齢	贈呈額(百万円)
1	栄養・嗜好・生理機能	実験動物学	新たに発見した視床下部小タンパク質による過食・肥満誘導機構の解明	浮穴 和義	広島大学大学院総合科学研究科	教授	46	500
2	疾病予防	農学	アジアにおける食と腸内細菌叢と生活習慣病に関する調査研究	中山 二郎	九州大学大学院農学研究院	准教授	53	480
自然科学部門 応募件数 17件				採択件数 2件	贈呈金額 980万円			

【個人研究奨励金】								
No	「食の科学」との関連	研究分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	贈呈額(百万円)
1	疾病予防	薬学	活性イオウ含有食品による酸化ストレス関連疾患予防	巽島 優	徳島大学大学院医歯薬学研究所	准教授	38	100
2	栄養・嗜好・生理機能	生活科学	必須脂肪酸欠乏時に産生される脂肪酸の疾患への関与とその制御機構の解明	市 育代	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系	講師	41	100
3	疾病予防	農学	マウス肝臓オルガノイド培養を用いたNASH病態の解明	臼井 達哉	東京農工大学農学部共同獣医学科	特任講師	32	100
4	疾病予防	生体分子科学	魚介類に豊富なオスモライト類による膵β細胞の機能向上と2型糖尿病予防	片岡 浩介	横浜市立大学生命医学研究科	准教授	50	100
5	栄養・嗜好・生理機能	農学	苦味成分による脂肪細胞機能調節の解析	加藤 英介	北海道大学大学院農学研究院	講師	38	100
6	栄養・嗜好・生理機能	農学	運動によるビタミンAの代謝調節がエネルギー代謝に与える影響	北風 智也	神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科	学術研究員	29	100
7	食品素材	環境学	有明海干潟での安全・美味なアサリの大量養殖	北川 昇	熊本県立大学環境共生学部	博士課程	64	100
8	疾病予防	医学	マウス母乳中に含まれる腸内細菌特異的IgG3抗体の産生における腸管上皮の役割	木村 俊介	北海道大学大学院医学研究院	助教	40	100
9	栄養・嗜好・生理機能	生活科学	ヒト生理作用によるおいしさ評価に向けた食刺激と唾液反射の関係解明	日下部裕子	農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品健康機能研究領域	ユニット長	47	100
10	栄養・嗜好・生理機能	医学	肥満を有する2型糖尿病患者へのBCAA・オメガ3系脂肪酸付加食の食事療法が体組成及び糖代謝へ及ぼす影響	窪田 直人	東京大学医学部附属病院病態栄養治療部	部長／准教授	48	100
11	疾病予防	医学	アミノ酸シグナルに着目したサルコペニア予防食開発のための分子基盤形成	小早川美輝	九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野	博士課程	29	100
12	疾病予防	農学	食品成分修飾タンパク質を認識する自然抗体遺伝子配列の網羅的解析	佐々木栄太	東京大学大学院農学生命科学研究科	助教	37	100
13	疾病予防	実験動物学	腸内細菌との共生に必須の腸上皮組織維持機構の解明	佐藤 卓	東京医科歯科大学難治疾患研究所	講師	42	100
14	疾病予防	神経科学	細菌性食中毒における痛みの発生と毒素との関係性について	品川 敏恵	理化学研究所眞貝細胞記憶研究室	専任研究員	48	100
15	栄養・嗜好・生理機能	農学	授乳期からの継続的な食品ポリフェノール摂取がもたらす脳機能発達を中心としたプラス効果の検討	嶋田 耕育	神奈川県立産業技術総合研究所食品機能性評価グループ	研究員	35	100
16	栄養・嗜好・生理機能	神経科学	カテキンが老化網膜の視覚機能に与える影響の解析	杉田 祐子	大阪大学蛋白質研究所分子発生学研究室	助教	36	100
17	発酵・微生物利用	農学	乳酸菌が生産する抗菌ペプチドの探索と構造・機能の解析	善藤 威史	九州大学大学院農学研究院	助教	44	100
18	栄養・嗜好・生理機能	薬学	必須微量元素セレンの代謝臓器としての腸内細菌叢の機能解明	高橋 一聡	千葉大学大学院医学薬学府	博士課程	24	100
19	栄養・嗜好・生理機能	農学	シロアリ王の活動的長寿を支えるロイヤルフードの特定と機能解析	田崎 英祐	京都大学大学院農学研究科	特定研究員	28	100
20	疾病予防	薬学	生理活性ペプチド・カルノシンを用いた慢性閉塞性肺疾患の予防法の確立	田中健一郎	武蔵野大学薬学部	講師	37	100
21	栄養・嗜好・生理機能	農学	小胞体ストレス応答機構が筋線維特異的の制御に及ぼす影響解明	徳武優佳子	信州大学大学院総合工学系研究科	博士課程	27	100
22	栄養・嗜好・生理機能	歯学	味覚情報処理におけるカチオンチャネルの役割解明	豊田 博紀	大阪大学大学院歯学研究科	准教授	46	100
23	食品素材	医学	細菌性肺炎制御に向けた、コメ由来ペプチドの探索および機能解析	永井 康介	新潟大学大学院医歯学総合研究科	博士課程	28	100
24	その他	医学	皮膚での苦味受容体を起点とした新奇生体防御機構の解明とその応用	中村 元直	岡山理科大学大学院理学研究科	教授	55	100
25	栄養・嗜好・生理機能	農学	ヒト腸内細菌に対する新規ショ糖アナログ2糖の増殖効果と分解酵素に関する研究	西尾 俊幸	日本大学生物資源科学部生命化学科	教授	60	100
26	食品素材	農学	次世代機能性糖質素材の開拓およびバイオプロセス技術の開発	仁平 高則	新潟大学農学部	特任助教	45	100
27	食品素材	生物学	内在性熱活性型レトロトランスポソンの育種への応用	野沢 紘佑	北海道大学大学院生命科学院	博士課程	25	100
28	栄養・嗜好・生理機能	生活科学	食品中成分であるビタミンDによる脳神経細胞の分化誘導機構の解析	廣田 佳久	芝浦工業大学システム理工学部生命科学科	助教(独立)	35	100
29	製造・加工・調理	化学	ミニエマルションを用いたナノスケール加工技術の開発	福井 有香	慶應義塾大学理工学部応用化学科	専任講師	33	100
30	疾病予防	薬学	カプサイシン受容体のプロスタノイドシグナル抑制による大腸がん予防機構の解明	福島 圭稜	徳島大学大学院医歯薬学研究所	助教	33	100

No	「食の科学」との関連	研究分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	贈呈額 (百万円)
31	栄養・嗜好・生理機能	農学	新たな脂肪肝制御因子CRTC1活性化による非アルコール依存性脂肪肝の治療	松村 成暢	京都大学大学院 農学研究科	助教	39	100
32	疾病予防	医学	長鎖脂肪酸による気管支喘息誘発機序の解明	水田健太郎	東北大学大学院 歯学研究科	准教授	44	100
33	栄養・嗜好・生理機能	農学	食品成分による抗老化アディポカインNAMPTの分泌促進メカニズムの解明	三谷 壘一	信州大学先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所	助教	33	100
34	栄養・嗜好・生理機能	神経科学	食への意欲に関わる脳領域の同定と機能解析	宮坂 信彦	理化学研究所 脳科学総合研究センター	副チームリーダー	49	100
35	栄養・嗜好・生理機能	農学	高活性プレニルフラボノイドの臓器蓄積特性の解明	向井 理恵	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部	准教授	38	100
36	疾病予防	医学	オメガ3脂肪酸の構造特異性に着目した喘息病態への抗炎症作用の解明	持丸 貴生	慶應義塾大学医学部 呼吸器内科	助教	35	100
37	栄養・嗜好・生理機能	薬学	乳酸菌が産生する希少脂肪酸の代謝経路の解明と神経細胞活性化作用の解析	森戸 克弥	徳島大学大学院 薬科学教育部	博士課程	28	100
38	疾病予防	農学	食品汚染微生物に対する昆虫味覚	柳川 綾	京大大学生存圏研究所 生存圏開発創生研究系	助教	37	100
39	食の安全	薬学	食品添加物による自然リンパ球を介した経口免疫寛容の獲得阻害作用に関する研究	山下 弘高	岐阜薬科大学 薬理学研究室	講師	33	100
自然科学部門 応募件数 245件				採択件数 39件	贈呈金額 3,900万円			

自然科学部門 助成金額合計 4,880万円

平成30年度 学術研究奨励金 贈呈者一覧（人文科学部門）

【共同研究奨励金】								
No	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関名称	役職	年齢	贈呈額 (百万円)	
1	文化人類学	東南アジアに残る樹皮紙古文書類の保全と活用を促進するデータベースを立ち上げる	Peter MATTHEWS	国立民族学博物館 超域フィールド科学研究部	教授	58	480	
人文科学部門 応募件数 13件			採択件数 1件	贈呈金額 480万円				

【個人研究奨励金】								
No	研究分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年齢	贈呈額 (百万円)	
1	哲学	モンゴル語訳『菩提道次第広論』の基礎的研究	ARILDII BURMAA	大谷大学大学院 文学研究科	博士課程	33	100	
2	史学	チベット語文献「仏教史書」(chos 'byung)に関する研究	井内 真帆	神戸市外国語大学 外国学研究所	客員研究員	39	100	
3	文化人類学	カンボジア山地民クルンのオノマトベと環境感受の民族誌的研究	井上 航	国立民族学博物館	外来研究員	44	100	
4	芸術学	法界仏像にみられる世界図に関する研究—西域北道・中国内地の作例を中心に—	易 丹韻	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程	30	100	
5	史学	中華民国期上海租界における国籍と領事庇護権の研究—会審公廨を中心に—	郭 まいか	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	30	100	
6	文化人類学	ヒマラヤオオミツバチをめぐる人類学的考察—ネパールグルン族の採蜜活動の変容に着目して—	合原 織部	京都大学大学院 人間・環境学研究科	博士課程	37	100	
7	地域研究	現代カンボジアの言論空間：民主カンプテア体制成立までの知識人の活動に焦点を当てて	新谷 春乃	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	32	100	
8	芸術学	帝国日本と近代東アジアの銅像—台湾・朝鮮・満州の例と歴史遺産としての現況比較	鈴木 恵可	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	35	100	
9	哲学	古代インドにおけるアディヤートマ哲学の再建に向けて	高橋 健二	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	27	100	
10	文化人類学	遊牧帝国の残照—新疆ホボクサイル・モンゴル自治州のオイラド・モンゴルの歴史記憶に着目して—	査斯 査干	総合研究大学院大学 文化科学研究科	博士課程	32	100	
11	史学	清末中華民国期のオールドス（イフジョー盟）におけるキリスト教宣教師たちの布教活動と現地に与えた影響	ハス 高娃	神戸大学大学院 国際文化科学研究科	博士課程	27	100	
12	史学	西夏がモンゴル帝国以降の中央ユーラシア地域におけるチベット仏教信仰に与えた影響の解明	浜中 沙椰	早稲田大学大学院 教育学研究科	博士課程	26	100	
13	史学	17世紀ハルハ=モンゴルの王位継承と内陸アジア世界	前野 利衣	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	27	100	
14	史学	13-14世紀ヒッラのシーア派学者集団と対スナ派関係：イマームの美德の書編纂活動の研究	水上 遼	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程	30	100	
15	文学	日本占領下の上海文壇再考	山口 早苗	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	30	100	
16	史学	18~19世紀におけるベトナム北部山地の社会変容と在地首長の生存戦略	吉川 和希	大阪大学大学院 文学研究科	博士課程	29	100	
17	哲学	陳元賛『老子経通考』に見える林希逸『老子處齋口義』批判	李 麗	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士課程	40	100	
人文科学部門 応募件数 115件			採択件数 17件	贈呈金額 1,700万円				

人文科学部門 助成金額合計 2,180万円

(付表2)

## 第7回(平成30年度)三島海雲学術賞 受賞者

## 【自然科学部門】

	受賞者	研究テーマ	所属機関	役職	年齢	推薦者
1	高田 龍平	脂溶性栄養素の腸管吸収機構に関する研究	東京大学医学部附属病院 薬剤部研究室	講師	41	日本薬学会会頭
2	萩原 伸也	食の安定供給に対する化学的視点からの取り組み	名古屋大学大学院 理学研究科物質理学専攻	准教授	41	名古屋大学大学院 理学研究科長

## 【人文科学部門】

1	塚本 鷹充	北宋絵画史の成立 [平成28年4月刊行 中央公論美術出版]	東京大学東洋文化研究所 東アジア研究部門(第二)	准教授	40	東京大学 東洋文化研究所所長
---	-------	----------------------------------	-----------------------------	-----	----	-------------------

## 三島海雲学術賞事業の推移

第1回平成24年(2012年)～第7回平成30年(2018年)

回数	年度	自然科学部門				人文科学部門				合計			
		応募 件数	受賞 者数	贈呈額 (万円)	受賞率 (%)	応募 件数	受賞 者数	贈呈額 (万円)	受賞率 (%)	応募 件数	受賞 者数	贈呈額 (万円)	受賞率 (%)
1	平成24	8	2	400	25.0%	5	2	300	40.0%	13	4	700	30.8%
2	25	15	2	400	13.3%	4	1	200	25.0%	19	3	600	15.8%
3	26	9	2	400	22.2%	5	1	200	20.0%	14	3	600	21.4%
4	27	16	1	200	6.3%	7	1	200	14.3%	23	2	400	8.7%
5	28	13	2	400	15.4%	14	1	200	7.1%	27	3	600	11.1%
6	29	10	2	400	20.0%	16	1	200	6.3%	26	3	600	11.5%
7	30	10	2	400	20.0%	14	1	200	7.1%	24	3	600	12.5%
累計		81	13	2,600	16.0%	65	8	1,500	12.3%	146	21	4,100	14.4%

\*1 第1回(平成24年度)人文科学部門受賞者の内、1名は特別賞

\*2 第4回(平成27年度)自然科学部門1名見送り

## 平成30年度学術活動支援

申込区分	平成30年 第I期	平成30年 第I期	平成30年 第II期
活動の名称	第23回日本フードファクター 学会・第12回日本ポリフェ ノール学会・第15回日本カテ キン学会合同学術集会	第28回日本メイロード学会 年会	追手門学院大学基盤教育機構 「満文大蔵経」と満州語文語 檔案文書の世界
開催責任者	内藤裕二 (京都府立医科大学大学院・ 准教授)	高橋素子 (札幌医科大学・教授)	承 志 (追手門学院大学・教授)
開催時期	H30年9月7-8日	H30年10月6-7日	H30年7月30日-8月3日
開催場所	メルパルク京都(京都)	札幌医科大学記念ホール (札幌)	京都大学羽田記念館(京都)
参加予定者数	300名	100名	30名
助成金額	50万円	30万円	50万円

**学術研究奨励事業の推移**  
**第1回 昭和38年(1963)～第56回 平成30年(2018)**  
(第53回～共同研究含む、奨学金、学術賞、学術活動支援を除く) (単位:金額 万円)

区分		学術研究奨励金(個人研究+共同研究)												
部門		自然科学				人文科学				合計				
回数	年度	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	
1	昭和38	1963	48	2	4.2	149	16	1	6.3	1,000	64	3	4.7	1,149
2	39	1964	53	5	9.4	503	35	5	14.3	310	88	10	11.4	813
3	40	1965	49	7	14.3	435	28	4	14.3	250	77	11	14.3	685
4	41	1966	67	9	13.4	558	27	6	22.2	300	94	15	16.0	858
5	42	1967	64	14	21.9	1,830	35	6	17.1	310	99	20	20.2	2,140
6	43	1968	105	20	19.0	1,210	78	11	14.1	550	183	31	16.9	1,760
7	44	1969	115	21	18.3	1,400	81	15	18.5	800	196	36	18.4	2,200
8	45	1970	118	24	20.3	1,400	78	10	12.8	600	196	34	17.3	2,000
9	46	1971	162	27	16.7	1,400	86	11	12.8	600	248	38	15.3	2,000
10	47	1972	128	24	18.8	1,400	80	10	12.5	600	208	34	16.3	2,000
11	48	1973	156	25	16.0	1,400	99	9	9.1	662	255	34	13.3	2,062
12	49	1974	143	29	20.3	1,500	77	8	10.4	700	220	37	16.8	2,200
13	50	1975	147	29	19.7	1,540	95	9	9.5	660	242	38	15.7	2,200
14	51	1976	171	26	15.2	1,400	89	9	10.1	600	260	35	13.5	2,000
15	52	1977	166	27	16.3	1,400	111	8	7.2	600	277	35	12.6	2,000
16	53	1978	161	26	16.1	1,400	120	9	7.5	600	281	35	12.5	2,000
17	54	1979	153	28	18.3	1,400	86	9	10.5	600	239	37	15.5	2,000
18	55	1980	152	28	18.4	1,400	103	11	10.7	600	255	39	15.3	2,000
19	56	1981	158	28	17.7	1,400	86	15	17.4	600	244	43	17.6	2,000
20	57	1982	135	25	18.5	1,390	110	13	11.8	600	245	38	15.5	1,990
21	58	1983	166	25	15.1	1,410	116	13	11.2	600	282	38	13.5	2,010
22	59	1984	168	25	14.9	1,400	119	14	11.8	600	287	39	13.6	2,000
23	60	1985	157	28	17.8	1,400	93	14	15.1	600	250	42	16.8	2,000
24	61	1986	158	20	12.7	1,400	87	14	16.1	600	245	34	13.9	2,000
25	62	1987	181	20	11.0	1,400	66	12	18.2	600	247	32	13.0	2,000
26	63	1988	187	21	11.2	1,470	72	14	19.4	700	259	35	13.5	2,170
27	平成元年	1989	198	21	10.6	1,470	86	14	16.3	700	284	35	12.3	2,170
28	2	1990	191	20	10.5	1,400	85	12	14.1	600	276	32	11.6	2,000
29	3	1991	159	20	12.6	1,400	89	12	13.5	600	248	32	12.9	2,000
30	4	1992	176	20	11.4	1,400	90	12	13.3	600	266	32	12.0	2,000
31	5	1993	187	20	10.7	1,400	104	12	11.5	600	291	32	11.0	2,000
32	6	1994	215	20	9.3	1,400	80	12	15.0	600	295	32	10.8	2,000
33	7	1995	184	18	9.8	1,260	66	11	16.7	550	250	29	11.6	1,810
34	8	1996	186	16	8.6	1,120	71	10	14.1	500	257	26	10.1	1,620
35	9	1997	195	16	8.2	1,120	83	10	12.0	500	278	26	9.4	1,620
36	10	1998	180	16	8.9	1,120	81	10	12.3	500	261	26	10.0	1,620
37	11	1999	163	16	9.8	1,120	72	10	13.9	500	235	26	11.1	1,620
38	12	2000	155	16	10.3	1,120	72	10	13.9	500	227	26	11.5	1,620
39	13	2001	153	18	11.8	1,260	79	11	13.9	550	232	29	12.5	1,810
40	14	2002	143	13	9.1	1,300	62	8	12.9	560	205	21	10.2	1,860
41	15	2003	125	13	10.4	1,300	60	8	13.3	560	185	21	11.4	1,860
42	16	2004	174	14	8.0	1,320	49	6	12.2	420	223	20	9.0	1,740
43	17	2005	160	14	8.8	1,400	81	8	9.9	560	241	22	9.1	1,960
44	18	2006	200	14	7.0	1,400	121	12	9.9	840	321	26	8.1	2,240
45	19	2007	157	19	12.1	1,900	112	19	17.0	1,330	269	38	14.1	3,230
46	20	2008	186	20	10.8	2,000	143	21	14.7	1,470	329	41	12.5	3,470
47	21	2009	205	20	9.8	2,000	143	19	13.3	1,330	348	39	11.2	3,330
48	22	2010	234	19	8.1	1,900	153	18	11.8	1,260	387	37	9.6	3,160
49	23	2011	228	22	9.6	2,200	108	15	13.9	1,050	336	37	11.0	3,250
50	24	2012	155	18	11.6	1,800	123	20	16.3	1,400	278	38	13.7	3,200
51	25	2013	181	20	11.0	2,000	125	20	16.0	1,400	306	40	13.1	3,400
52	26	2014	226	27	11.9	2,700	118	21	17.8	1,470	344	48	14.0	4,170
53	27	2015	220	36	16.4	4,400	116	20	17.2	2,300	336	56	16.7	6,700
54	28	2016	284	39	13.7	4,700	116	17	14.7	2,100	400	56	14.0	6,800
55	29	2017	254	38	15.0	4,600	109	18	16.5	2,090	363	56	15.4	6,690
56	30	2018	262	41	15.6	4,880	128	18	14.1	2,180	390	59	15.1	7,060
計			9,204	1,187	12.9	91,385	4,998	674	13.5	44,862	14,202	1,861	13.1	136,247

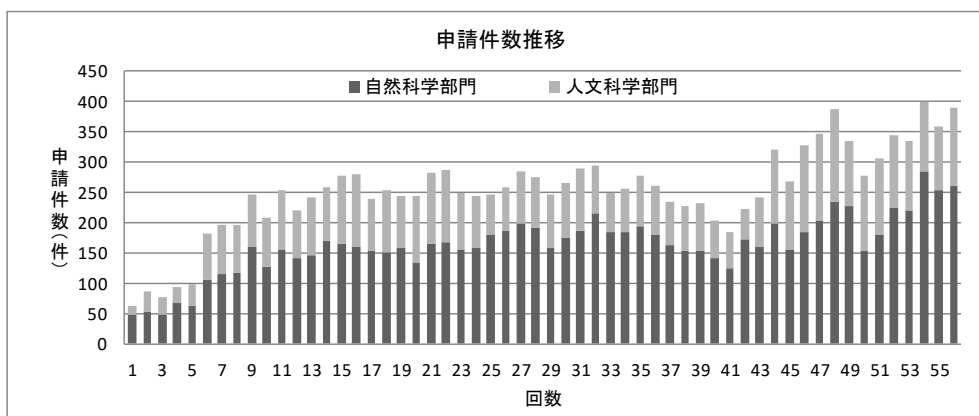
\*1 第53回(2015年度)より共同研究奨励金含む



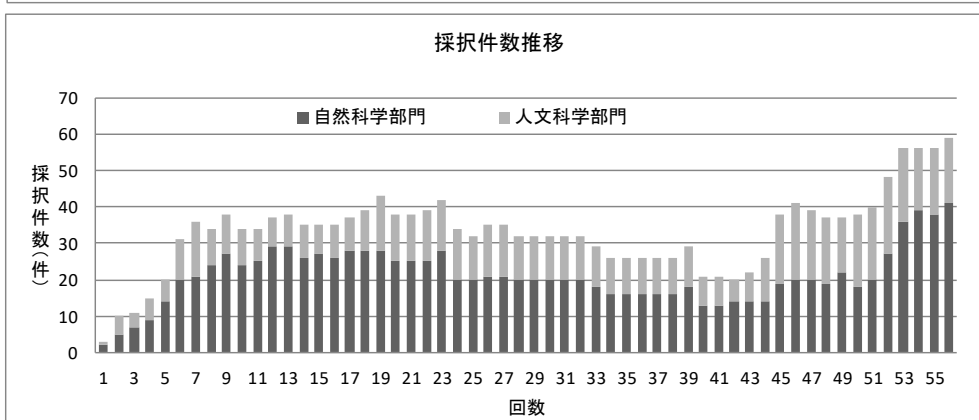
(付図1)

学術研究奨励金 助成推移 (共同研究含む第53回～、奨学金を除く)

第1回(昭和38年(1963年))～第56回(平成30年(2018年))

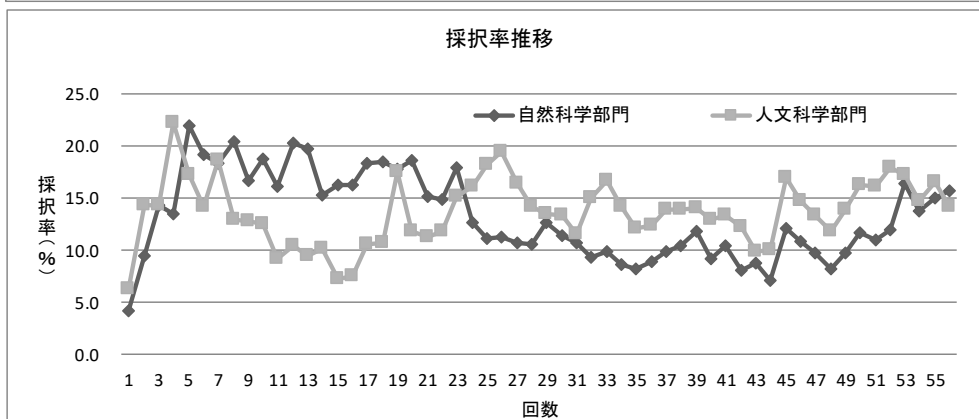


(2018年度)  
自然科学 262件  
人文科学 128件  
計 390件



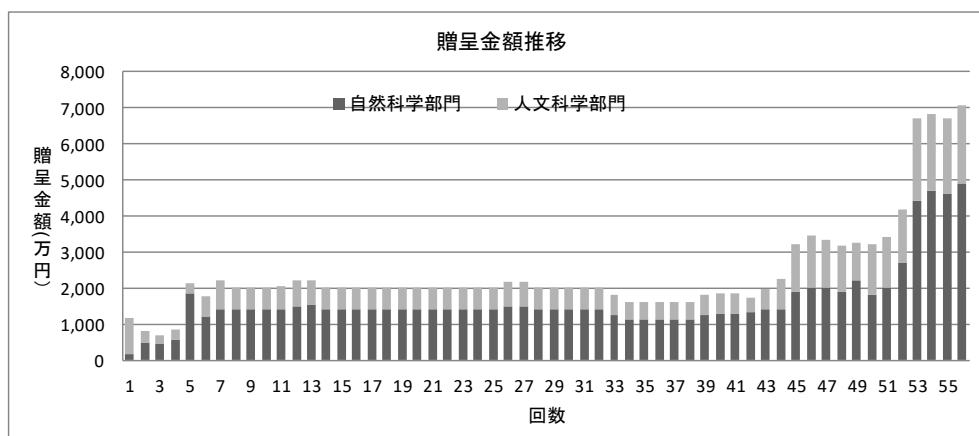
(2018年度)  
自然科学 41件  
人文科学 18件  
計 59件

(累計)  
自然科学 1,187件  
人文科学 674件  
計 1,861件



(2018年度)  
自然科学 15.6%  
人文科学 14.1%

(平均採択率)  
15.1%



(2018年度)  
自然科学 4,880万円  
人文科学 2,180万円  
(合計) 7,060万円

(累計)  
136,247万円

## II. 業務及び職務の執行状況

平成 30 年度の業務執行に関する事項は以下の通りです。

### 1. 評議員・役員・委員に関する事項

付表 4, 5 をご参照ください。

### 2. 理事会・評議員会等に関する事項

#### 1) 理事会（開催回数：理事会 8 回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第 37 回 理事会（通常）			
	2 月 22 日 財団事務所 会議室	第 1 号議案 第 17 回評議員会（定時）招集の件 第 2 号議案 平成 29 年度事業報告及び附属明細書承認の件 第 3 号議案 平成 29 年度財産及び損益の状況及び附属明細書承認の件 第 4 号議案 役員及び評議員の報酬に関する規程改定の件 第 5 号議案 役員等及び委員の謝金に関する規程改定の件 第 6 号議案 旅費規程改定の件 第 7 号議案 平成 29 年度事業報告書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 平成 29 年度資産管理状況について
第 38 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	3 月 18 日	第 1 号議案 第 7 回三島海雲学術賞受賞者（自然科学部門）承認の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 39 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	4 月 13 日	第 1 号議案 平成 30 年度（第 I 期）学術活動支援承認の件 第 2 号議案 資産管理委員会アドバイザー委嘱の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 40 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	4 月 27 日	第 1 号議案 第 7 回三島海雲学術賞受賞者（人文科学部門）承認の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 41 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	6 月 8 日	第 1 号議案 「第 56 回（平成 30 年度）学術研究奨励金」贈呈者等承認の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 42 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	7 月 18 日	第 1 号議案 「平成 30 年度（第 II 期）学術活動支援」贈呈者承認の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 43 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	8 月 20 日	第 1 号議案 西日本豪雨災害支援金拠出承認の件 <理事全員から書面による承認が得られた>	
第 44 回 理事会（通常）			
	11 月 6 日 セルリアンタワー 東急ホテル	第 1 号議案 第 18 回評議員会（臨時）招集の件 第 2 号議案 2019 年度事業計画承認の件 第 3 号議案 2019 年度収支（損益）予算承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 平成 30 年度業務中間報告 2. 平成 30 年度資産管理状況報告

#### 2) 監査（於 財団会議室）

1 回	1 月 29 日	1. 平成 29 年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 平成 29 年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項
2 回	10 月 4 日	1. 平成 30 年度事業並びに業務に関する事項 2. 2019 年度事業計画案について 3. 2019 年度収支予算案について

### 3) 評議員会 (開催回数: 評議員会 2 回開催)

回	開催日	決議事項	報告事項
第 17 回	評議員会 (定時)		
	3 月 13 日 ウェスティンホテル 東京	第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び附属明細書承認の件 第 2 号議案 平成 29 年度財産及び損益の状況並びに附属明細書承認の件 第 3 号議案 役員及び評議員の報酬に関する規程改定の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 役員等及び委員の謝金に関する規程改定について 2. 旅費規程改定について 3. 平成 29 年度事業報告書等の提出書類について 4. 平成 29 年度資産管理状況及び平成 30 年度資産運用について 5. 第 7 回三島海雲学術賞 (自然科学部門) 選考状況について
第 18 回	評議員会 (臨時)		
	11 月 6 日 セルリアンタワー東 急ホテル		1. 2019 年度事業計画 2. 2019 年度収支予算 3. 平成 30 年度業務執行状況 (中間) 報告 4. 平成 30 年度資産管理状況について

### 3. 学術委員会・選考委員会に関する事項

#### 1) 選考委員会 (開催回数: 自然科学部門 3 回、人文科学部門 3 回開催)

平成 30 年度	2 月 28 日	「三島海雲学術賞二次選考委員会」 (自然科学部門)	(2 名選考)
	4 月 6 日	「三島海雲学術賞二次選考委員会」 (人文科学部門)	(1 名選考)
	5 月 31 日	「学術研究奨励金」 (自然科学部門)	(個人研究 39 名、共同研究 2 名選考)
	6 月 1 日	「学術研究奨励金」 (人文科学部門)	(個人研究 17 名、共同研究 1 名選考)
2019 年度	11 月 26 日	「三島海雲学術賞一次選考委員会」 (人文科学部門)	
	12 月 4 日	「三島海雲学術賞一次選考委員会」 (自然科学部門)	

#### 2) 学術委員会 (開催回数: 自然科学部門 1 回、人文科学部門 1 回開催)

第 1 回 (自然)	10 月 18 日	1. 2019 年度事業計画、等 (自然科学部門) 2. 三島海雲学術賞の推薦状況、選考スケジュール等について
第 2 回 (人文)	11 月 26 日	1. 2019 年度事業計画、等 (人文科学部門) ※三島海雲学術賞の一次選考会と同日開催

3) 贈呈式開催 平成 30 年 7 月 6 日 (金) 於) パレスホテル東京 (出席者 117 名)

### 4. 資産管理委員会に関する事項

#### 1) 資産管理委員会

第 22 回	2 月 8 日	1. 平成 29 年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 平成 29 年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項 3. 平成 29 年度資産管理の状況及び平成 30 年度の資産運用について
第 23 回	7 月 13 日	1. 平成 30 年度上期の資産運用状況について
第 24 回	9 月 20 日	1. 平成 30 年度 資産運用状況 (中間) について 2. 今後の資産運用方針について
第 25 回	12 月 19 日	1. 2019 年度 資産運用方針について

#### 2) 資産管理の状況について

<平成 30 年度資産管理状況の詳細は、別途報告します。>

## 5. 登記などに関する事項

なし

## 6. 内閣府認定等委員会届出

月 日	届け・提出等
3月23日	・平成29年度事業報告書等の提出
9月4日	・役員及び評議員の報酬規程改定（変更届け）
12月11日	・2019年度事業計画書等の提出

## 7. 契約に関する事項

月 日	契約事項
4月12日	・出向に関する付属覚書（唐木田陽一氏出向受入）（アサヒ飲料株式会社）
4月23日	・労働者派遣基本契約書（奥秋氏派遣受入）（パーソナルテンプスタッフ社）

## 8. その他の重要事項

### 1) 共同研究報告・交流会

自然科学部門 平成30年10月18日 平成29年度共同研究奨励金受贈2件報告  
※学術委員会と同日開催

人文科学部門 平成30年11月9日 平成28・29年度共同研究奨励金受贈3件報告

### 2) 年次報告書の発行

11月1日	平成30年度「年次報告書」発行／国際文献社	発行部数	350部
-------	-----------------------	------	------

注) 年次報告書には研究概要を掲載し、研究報告書は電子媒体にて保管。

### 3) 財団所蔵史料の整理

昨年に追加してさらに整理を進め、2011年に作成したものと統合した目録を作成した。  
これまでに筆耕されている杉村楚人冠、坂口謹一郎博士に加え、今回、羽田亨博士書簡の筆耕に着手しました(2019年内終了予定)。

### 4) ホームページのリニューアル

財団の活動・事業の内容と創設者 三島海雲翁など財団のことがより解かるように、目を引く・目に入る・見やすいことと、今の活動やニュース性をポイントに、11月からホームページの部分改定・補強を行いました。また、表示画面のスマートフォン対応も併せて実施しました。

## 評議員・役員・顧問 名簿

(平成30年12月31日現在) 敬称省略

職名	常勤・非常勤	氏名	現職
<b>評議員(11名)</b>			
評議員会 会長	非常勤	石毛 直道	国立民族学博物館名誉教授・元館長
評議員	非常勤	工藤 正	中央不動産株式会社特別顧問 元株式会社みずほ銀行頭取
評議員	非常勤	西川 孝純	元共同通信社論説委員長
評議員	非常勤	清水 孝雄	国立国際医療研究センター・プロジェクト長 東京大学医学部特任教授
評議員	非常勤	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所部長 大阪大学名誉教授
評議員	非常勤	寺田 篤	元株式会社電通ラジオテレビ&エンタテインメント 局長
評議員	非常勤	羽田 正	東京大学理事・副学長 東京大学東洋文化研究所教授
評議員	非常勤	濱田 正美	神戸大学名誉教授 京都大学名誉教授
評議員	非常勤	臺 誠	元カルピス株式会社取締役常務執行役員
評議員	非常勤	西村 秀豊	元カルピス株式会社取締役執行役員

**理事(8名)**

理事長 (代表理事)	非常勤	今関 博	元カルピス株式会社取締役副社長
副理事長	非常勤	上野川修一	東京大学名誉教授
副理事長	非常勤	間野 英二	龍谷大学客員教授 京都大学名誉教授 日本学士院会員
理事	非常勤	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
理事	非常勤	和田 一郎	牛嶋・寺前・和田法律事務所 弁護士
理事	非常勤	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
理事	非常勤	中村 長松	元公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
常務理事	常勤	齋藤 芳男	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事

**監事(2名)**

監事	非常勤	齋藤 正三	齋藤会計事務所 公認会計士・税理士
監事	非常勤	山本 克	元株式会社エイチ・アイ・エス監査役

**顧問(1名)**

顧問	非常勤	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
----	-----	-------	----------------

**名誉顧問(2名)**

名誉顧問	非常勤	小林 公生	元カルピス株式会社取締役社長・会長
名誉顧問	非常勤	寺田 牧子	元三島食品工業株式会社取締役社長

### 学術委員名簿

(平成30年12月31日現在) 敬称省略

職名	氏名	現職
<b>自然科学部門 (9名)</b>		
学術委員長 (副理事長)	上野川修一	東京大学名誉教授
学術委員	阿部 啓子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	伊藤喜久治	元東京大学教授
学術委員 (評議員)	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授 東京大学名誉教授
学術委員 (評議員)	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所部長 大阪大学名誉教授
学術委員	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	伏木 亨	龍谷大学農学部教授・食の嗜好研究センター長 京都大学名誉教授
学術委員	和田 俊	東京海洋大学名誉教授
学術委員	山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授

### 人文科学部門 (6名)

学術委員長 (評議員)	羽田 正	東京大学理事・副学長 東京大学東洋文化研究所教授
学術委員	赤松 明彦	京都大学白眉センター長 京都大学名誉教授
学術委員	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
学術委員	小長谷有紀	国立民族学博物館教授
学術委員	坪井 善明	早稲田大学政治経済学術院教授
学術委員	中見 立夫	東京外国語大学名誉教授

### 資産管理委員

(平成30年12月31日現在) 五十音順 敬称省略

職名	氏名	現職
資産管理委員長 (理事)	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
資産管理委員	出塚 清治	税理士法人出塚会計事務所 公認会計士・税理士
資産管理委員	山田 和久	元カルピス株式会社健康・機能性食品事業部部長
資産管理委員 (理事)	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
資産管理委員 (理事)	齋藤 芳男	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事

## 附 属 明 細 書

### 1. 平成 30 年度事業報告の明細

- 1 平成 30 年度事業報告並びに 2 業務及び職務の執行状況において記載している。